

杉戸町立杉戸第三小学校 令和7年度 学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

| 評価項目 | 目標 | 具体的取組 | 指標 (指標ごとの評価) | 自己評価 | | 改善策 | 学校関係者評価 | |
|-------|---|--|--|------|---|---|---------|---|
| | | | | 評価 | 達成状況 (成果・課題) | | 評価 | 意見・要望・支援策等 |
| 確かな学力 | ○児童が見通しを持ち主体的に学習に取り組むことができるよう授業改革を図り、学ぶ楽しさを味わわせる。 | ・安心安全な居場所となる学級づくり ・自主的な授業公開 ・単元計画の作成 ・振り返りの充実(個々に学びを自覚) | ・学校生活アンケート(授業項目)②児,保95% ③児,保85%④⑤児,保88% ⑥児,保90% 上記項目において教師との意識の差をR6より狭める。 | b | △今年度の取組(単元計画の作成、児童と共有)を見直しさらに改善を図る。 【学校生活アンケート結果】 ②授業が楽しい(児87%保83%) ③粘り強く学習(児83%保70%) ④振り返り(児73%保66%) ⑤授業理解(児85%保83%) ⑥伝え合い(児92%保79%) ○学力調査では国語の基礎問題で5つの学年で平均以上。応用問題は3つの学年で全国平均を上回ることができた。 ○課題では4つの学年で基礎、3つの学年は応用も全国平均以上となった。 △低学年での躓きが意欲や知識・技能に影響するので、丁寧な指導が必要である。どの学年も問題文の読み取りが低い傾向にあり、教科指導や読書活動の充実をさらに図っていく。 【総合学力調査結果】正答率(全国比) 1年 国語76.5(-1.2)算数83.9%(-3.1) 2年 国語85.3(-1.1)算数76.0(+1.3) 3年 国語71.4(+6.1)算数79.3(+7.9) 4年 国語73.2(+3.3)算数77.5(+9.6) 5年 国語65.7(-0.6)算数67.6(+1.3) 6年 国語71.2(+1.3)算数56.3(-7.3) | ・どの学年も単元計画、めあて、学習の目的を最初に示し、児童と共有してから授業展開をすることの有用性や成果との関連を実感しているが、これを全教科で実行できるような学年チームで改善を積み重ねていく。 ・学級経営、学校評価とリンクしていた。小学校では児童との信頼関係を築き、良さを伸ばし、課題については児童と話し合っ対策を立て、それを実行するまで取り組むことができている学年・学級は非常に結果もよかった。児童や保護者としてよりよい関係性を築けている教員の授業や学級経営上大事にしていることなどを共有していく。 ・各調査の分析は、非常によく取り組んでいる。年度内に何をどのように学び直すのかを具体的に出せているので確実に実行していく。複数の教員で指導を行う学習支援は非常に有効であった。人財の強みを生かして学習支援の工夫に取り組む。 ・振り返りについては自己評価面談でも課題ととらえる教員が多かった。児童にわかりやすい指標を伝え、振り返りの実践を蓄積していく。 | B | ・本校は小規模校として児童と教師のかかわりが深く、共に授業を作り上げています。大変良い雰囲気だと思います。今後も、児童一人ひとりを大切に支援してください。 ・2,3,4,5,6が、児童・保護者と教職員との結果が多少乖離しています。分析をお願いします。特に、4について、人はできないことを他人の責任にする傾向があります。教職員の責任ではありません。教職員は100%の結果で指導しています。 ・タブレットの持ち運びについて、意見が多く出ているような気がします。何か改善策があればよいと思います。 ・学校生活アンケート結果は昨年と比べて大きな差はなく、今後も地道な努力の積み重ねが重要と感じましたが、全体的にはうまくいっていると思います。 ・タブレットを積極的に活用しながら、また、先生の話聞くだけでなく、グループで学び合いながら等、工夫された楽手を進めていると思います。 ・何度か授業を参観したが、教師の授業の進め方、児童の学習への向き合い方に問題はないと感じました。低学年の指導は、補助できる教師が多い方が良かったと思います。 ・学校生活アンケート2～6の児童・保護者・教員の意識の差について、原因が分析できると良い。また、2では先生方の結果も低いことから、達成困難な理由があるのか検証してほしいです。 ・児童・保護者・教員それぞれの回答差があるようです。保護者理解を促進する必要があるそうです。協働的な学習については結果もよく浸透してきているようです。 |
| | ○児童が主体的に学ぶための学習スキルを定着させ、個々の力を高める。 | ・授業の中で、書く聴く話すスキルの向上 ・よむYOMUワークシートの活用 ・マイチャレンジ学習の活用(苦手を克服、得意を伸ばす) | ・総合学力調査 国語:全国比+3P以上 算数:全国比-2P以内 基礎問題:国語算数 全国比以上 | B | △今年度の取組(単元計画の作成、児童と共有)を見直しさらに改善を図る。 【学校生活アンケート結果】 ①学校が楽しい(児91%保95%) ①①互いの良さを認める(児95%保94%) ①③努力を認める(児95%保97%) ①③意見を聞く(児85%保86%) 【不登校】 どの児童も町関係機関、医療機関と繋がっており、多面的な児童理解と支援を進めている。不登校を生まない学校づくりに引続き注力するとともに、それぞれのケースや段階に応じた支援を施していく。 ⑨適切な言葉遣い(児81%保79%) ⑩しっかりとした挨拶(児84%保83%) | ・様々な教育活動において、児童の考えを反映させることができるような取組を推進しているが、特に学校行事・校内行事では児童にも創り上げたという主体的な感想が増えた。 ・継続して低学年から学級活動での話し合い活動を十分に行い、高学年で自治的活動ができる児童を育成する。 ・言葉遣いや挨拶は、教師が率先して行うことで手本とする。児童自身が挨拶の良さや必要性を実感できるようにする。また、学校は公共の場であることを繰り返し指導していく。 ・今後も児童アンケート等の積極的な活用により、いじめ・不登校を生まないよう早期発見・早期対応に努めていくとともに、配慮が必要な対応は教育委員会等の行政や関係機関と積極的に連携を図っていく。 | B | ・不登校対応について、特に欠席が目立つ児童を早期発見し、早期対応をお願いします。学校だけですと大変です。保護者の協力も必要かもしれません。 ・9,10については、家庭の協力が不可欠です。学校として責任を感じる必要はありません。 ・18,19については概ね達成しています。今後も児童の話をよく聞いて、褒めてのばしてください。 ・この項目の指標評価は高い目標値でしたが、90%を越えている点は評価できると思います。教職員の心配りと児童のがんばりは大いに評価できると思います。 ・子供たちも元気に挨拶してくれます。発表会もとても良かったです。皆で協力して行事も行われていると思います。 ・交流の場を増やせばもっと気軽に相談や提案ができて、理解がより深まると思いました。 ・アンケートを見る限り、指標にある数値に届いていないが、よく取り組んでいたと思っています。言葉遣い・あいさつについては、家庭や地域の状況もあると思われます。 ・児童の思いや考えを活かした取組がとてもよいと思いました。『学校が楽しい』が90%以上でとても良いと思います。 ・不登校支援では、今後もそれぞれの児童に合った支援を継続していただくようにお願いします。 |
| 豊かな心 | ○児童の思いや考えを活かした教育活動を推進し、学校生活の中で達成感や充実感を味わわせ不登校児童ゼロを継続する。 | ・計画委員会主催の児童集会や委員会活動の充実 ・たてわり活動、クラブ活動、生活科で異学年交流 ・特別活動(話し合い)の充実 ・居心地の良い学級づくり ・登校しぶりのある児童とその保護者の早期発見・早期対応 | ・学校生活アンケート 児,保,教とも ①学校が楽しい:98%以上 ①①互いの良さを認める。95%以上 ①③努力を認める:98%以上 ①③意見を聞く:98%以上 ・不登校、新規不登校ゼロ | b | △今年度の取組(単元計画の作成、児童と共有)を見直しさらに改善を図る。 【学校生活アンケート結果】 ①学校が楽しい(児91%保95%) ①①互いの良さを認める(児95%保94%) ①③努力を認める(児95%保97%) ①③意見を聞く(児85%保86%) 【不登校】 どの児童も町関係機関、医療機関と繋がっており、多面的な児童理解と支援を進めている。不登校を生まない学校づくりに引続き注力するとともに、それぞれのケースや段階に応じた支援を施していく。 ⑨適切な言葉遣い(児81%保79%) ⑩しっかりとした挨拶(児84%保83%) | ・様々な教育活動において、児童の考えを反映させることができるような取組を推進しているが、特に学校行事・校内行事では児童にも創り上げたという主体的な感想が増えた。 ・継続して低学年から学級活動での話し合い活動を十分に行い、高学年で自治的活動ができる児童を育成する。 ・言葉遣いや挨拶は、教師が率先して行うことで手本とする。児童自身が挨拶の良さや必要性を実感できるようにする。また、学校は公共の場であることを繰り返し指導していく。 ・今後も児童アンケート等の積極的な活用により、いじめ・不登校を生まないよう早期発見・早期対応に努めていくとともに、配慮が必要な対応は教育委員会等の行政や関係機関と積極的に連携を図っていく。 | B | ・不登校対応について、特に欠席が目立つ児童を早期発見し、早期対応をお願いします。学校だけですと大変です。保護者の協力も必要かもしれません。 ・9,10については、家庭の協力が不可欠です。学校として責任を感じる必要はありません。 ・18,19については概ね達成しています。今後も児童の話をよく聞いて、褒めてのばしてください。 ・この項目の指標評価は高い目標値でしたが、90%を越えている点は評価できると思います。教職員の心配りと児童のがんばりは大いに評価できると思います。 ・子供たちも元気に挨拶してくれます。発表会もとても良かったです。皆で協力して行事も行われていると思います。 ・交流の場を増やせばもっと気軽に相談や提案ができて、理解がより深まると思いました。 ・アンケートを見る限り、指標にある数値に届いていないが、よく取り組んでいたと思っています。言葉遣い・あいさつについては、家庭や地域の状況もあると思われます。 ・児童の思いや考えを活かした取組がとてもよいと思いました。『学校が楽しい』が90%以上でとても良いと思います。 ・不登校支援では、今後もそれぞれの児童に合った支援を継続していただくようにお願いします。 |
| | ○相手や場に応じた言葉遣い、あいさつができるようにする。 | ・適切な言葉遣いや礼儀正しい行動の共通理解と共通行動 ・「学校でも家でも地域でも気持ちのよいあいさつ」の奨励と実践 ・できている児童への称賛 ・懇談会等で家庭に周知、啓発 | ・学校生活アンケート ⑨言葉:児,保88%以上 ⑩挨拶:児,教88%以上 | B | △今年度の取組(単元計画の作成、児童と共有)を見直しさらに改善を図る。 【学校生活アンケート結果】 ①学校が楽しい(児91%保95%) ①①互いの良さを認める(児95%保94%) ①③努力を認める(児95%保97%) ①③意見を聞く(児85%保86%) 【不登校】 どの児童も町関係機関、医療機関と繋がっており、多面的な児童理解と支援を進めている。不登校を生まない学校づくりに引続き注力するとともに、それぞれのケースや段階に応じた支援を施していく。 ⑨適切な言葉遣い(児81%保79%) ⑩しっかりとした挨拶(児84%保83%) | ・様々な教育活動において、児童の考えを反映させることができるような取組を推進しているが、特に学校行事・校内行事では児童にも創り上げたという主体的な感想が増えた。 ・継続して低学年から学級活動での話し合い活動を十分に行い、高学年で自治的活動ができる児童を育成する。 ・言葉遣いや挨拶は、教師が率先して行うことで手本とする。児童自身が挨拶の良さや必要性を実感できるようにする。また、学校は公共の場であることを繰り返し指導していく。 ・今後も児童アンケート等の積極的な活用により、いじめ・不登校を生まないよう早期発見・早期対応に努めていくとともに、配慮が必要な対応は教育委員会等の行政や関係機関と積極的に連携を図っていく。 | B | ・不登校対応について、特に欠席が目立つ児童を早期発見し、早期対応をお願いします。学校だけですと大変です。保護者の協力も必要かもしれません。 ・9,10については、家庭の協力が不可欠です。学校として責任を感じる必要はありません。 ・18,19については概ね達成しています。今後も児童の話をよく聞いて、褒めてのばしてください。 ・この項目の指標評価は高い目標値でしたが、90%を越えている点は評価できると思います。教職員の心配りと児童のがんばりは大いに評価できると思います。 ・子供たちも元気に挨拶してくれます。発表会もとても良かったです。皆で協力して行事も行われていると思います。 ・交流の場を増やせばもっと気軽に相談や提案ができて、理解がより深まると思いました。 ・アンケートを見る限り、指標にある数値に届いていないが、よく取り組んでいたと思っています。言葉遣い・あいさつについては、家庭や地域の状況もあると思われます。 ・児童の思いや考えを活かした取組がとてもよいと思いました。『学校が楽しい』が90%以上でとても良いと思います。 ・不登校支援では、今後もそれぞれの児童に合った支援を継続していただくようにお願いします。 |
| 健やかな体 | ○体育授業と外遊びを通して、体を動かすことの楽しさを味わわせる。 | ・運動量と学び合いのある体育授業の実践 ・各学級やたてわり活動で外遊びの奨励 ・運動委員会による企画 | ・学校生活アンケート ①④思いきり運動:児,保R6+2P以上 ①⑤外遊び:児,保85%以上 | b | ○20mシャトルランはどの学年でも伸び、ほとんどの学年で県平均を越えた。 ○持久走記録会、なわとび記録会の練習に意欲的に取り組む児童の割合が増加。 ○視力Aの児童74.5%。 ○永久歯う歯治療率90%→98.3% ○埼玉県学校歯科保健コンクール優良校 ○歯磨き指導全クラス実施 △新体力テストD+E微増21%→23%握力、投力向上が課題 △う歯のある児童、肥満傾向児童が多い。 | ・体育の運動を通して喜びを感じた児童94.1%、仲間と協力する活動を通して喜びを感じた児童90.4%と、体育に意欲的に取り組める児童は多い。今後は体育授業の学習形態、体育的行事の内容、学習カードの工夫改善、年間指導計画の見直しにより、体育的活動の質の維持・向上を目指す。 ・運動する機会確保の観点から縦割り班活動を年7回実施したが、グーパー運動や体育委員による運動教室などの補強運動に努め、学校課題に重点的に取り組んでいく。 ・歯磨き指導は引続き継続実施するとともに、保護者への啓発を図り、よりよい歯磨きの習慣化を目指す。 | B | ・12について、割合を高めるためには保護者の協力が不可欠です。保護者の回答結果が上昇すれば、児童の結果も必然的に上がります。教職員の結果は100%です。 ・14について、体育の時間の活動は、児童・教職員とも良い結果です。学習や豊かな心を育むためには、健康な体が必要です。先生方も無理のない範囲で体を動かしてください。 ・アンケートで厳しい意見も出ていましたが、自主性を重んじる対応も必要かと思えます。 ・全体的に95%を越える指標評価はすばらしいと感じました。保護者の方々への更なる周知が必要と感じました。 ・多くの児童が体育や休み時間は体を動かしているようです。 ・教師・児童・保護者ともに、「余白」や「遊び」が少ないように感じます。 ・特に問題ないと思います。引続き、今の意欲を維持できたらよいと思いました。 ・運動の得手・不得手・好き嫌いはあるが、学習だけでなくのびのびと運動し発散できる時間は大切だと思う。PTAで校庭の見守り等何か協力できることがあれば協力したいと考えています。 ・家庭環境の状況もいろいろありますが、指標となる発信を続けていただき、少しでも改善につなげて欲しいです。 |
| | ○家庭と連携し基本的な生活習慣の定着を図ることで、自分の健康を意識できる児童を育てる。 | ・うがい・手洗いの励行 ・生活チェックシートで「早寝早起き朝ごはん」の定着と奨励 ・歯みがき指導でむし歯予防と歯の健康を啓発 | ・学校生活アンケート ②生活習慣:児,保88%以上 ③手洗い:児,保,教95%以上 | B | ○【農業体験活動】1年…なす、2年…さつまいも、3年…きゅうり5年…田植え・稲刈り、6年…梨づくり体験、ひばり…各種野菜の植栽や推食。 ○【地域体験】2年…ひなた、3年…アグリパーク・消防署・警察署・きゅうり農家見学。4年…福祉体験。 ○PTAバザー、餅つき大会、クリーン活動除草活動等) △HPの活用 【学校生活アンケート結果】 ②教育活動の情報発信(保-3p)③地域連携(保+2P) ④よい学校(児±0保-3P) | ・植栽活動や地域見学の実施により、充実した教育活動を推進することができた。体験を通じた学びは児童の豊かな心を育んでいる。 ・PTA協力によるバザーや餅つきは児童の良い体験となった。また、PTA主催のクリーン活動により児童のよりよい教育環境づくりは本校の財産である。今後も連携を継続していきたい。 ・HPは児童の活動の様子を中心に更新しており、週案や各種便り等の掲載・配信についてはメール配信システムを活用している。どのプラットフォームの活用が効果的か、今後も適宜検討と試行を重ねていく。 | B | ・地域との連携はとても重要です。今後も今まで以上に連携をお願いします。授業時数との兼ね合いもありますが、体験学習等をできるだけ積極的に取り入れてください。豊かな心を育むためには、体験学習等は最適です。 ・この項目は児童・保護者・教職員全体から高評価であり、すばらしいものでした。今後も続けられることを期待します。 ・学校独自の行事も多く、協力し合いながら楽しく行われているようです。 ・第三小独自の活動が多く良いと思います。今後も持続できるように協力していきたいです。 ・アンケート24(「誇れる学校か」)の保護者の結果は残念であるが、引続きPTAとして児童によりよい生活を送ってもらえるよう取り組んでいきます。 ・農業・地域体験は、子供たちが喜ぶだけでなく、様々な体験ができて良い教育活動と思っています。また、地域ボランティアによる協力体制も継続していただき、子供たちが自慢できる学校にできたらと思います。 |
| 学校独自 | ○地域の教育力を活用した体験活動を充実させ、児童にとって誇れる学校を目指す。 | ・地域ボランティアの協力による体験活動の実施(地域見学、植栽活動) ・杉戸ふるさと学習に基づいた取組 | ・学校生活アンケート ③連携:保95%以上 ④よい学校:児,保95%以上 | b | ○【農業体験活動】1年…なす、2年…さつまいも、3年…きゅうり5年…田植え・稲刈り、6年…梨づくり体験、ひばり…各種野菜の植栽や推食。 ○【地域体験】2年…ひなた、3年…アグリパーク・消防署・警察署・きゅうり農家見学。4年…福祉体験。 ○PTAバザー、餅つき大会、クリーン活動除草活動等) △HPの活用 【学校生活アンケート結果】 ②教育活動の情報発信(保-3p)③地域連携(保+2P) ④よい学校(児±0保-3P) | ・植栽活動や地域見学の実施により、充実した教育活動を推進することができた。体験を通じた学びは児童の豊かな心を育んでいる。 ・PTA協力によるバザーや餅つきは児童の良い体験となった。また、PTA主催のクリーン活動により児童のよりよい教育環境づくりは本校の財産である。今後も連携を継続していきたい。 ・HPは児童の活動の様子を中心に更新しており、週案や各種便り等の掲載・配信についてはメール配信システムを活用している。どのプラットフォームの活用が効果的か、今後も適宜検討と試行を重ねていく。 | B | ・地域との連携はとても重要です。今後も今まで以上に連携をお願いします。授業時数との兼ね合いもありますが、体験学習等をできるだけ積極的に取り入れてください。豊かな心を育むためには、体験学習等は最適です。 ・この項目は児童・保護者・教職員全体から高評価であり、すばらしいものでした。今後も続けられることを期待します。 ・学校独自の行事も多く、協力し合いながら楽しく行われているようです。 ・第三小独自の活動が多く良いと思います。今後も持続できるように協力していきたいです。 ・アンケート24(「誇れる学校か」)の保護者の結果は残念であるが、引続きPTAとして児童によりよい生活を送ってもらえるよう取り組んでいきます。 ・農業・地域体験は、子供たちが喜ぶだけでなく、様々な体験ができて良い教育活動と思っています。また、地域ボランティアによる協力体制も継続していただき、子供たちが自慢できる学校にできたらと思います。 |
| | ○PTAとの連携を通して、自慢できる学校づくりを推進する。 | ・うすフェス(PTAバザー) ・もちつき ・クリーン活動等環境整備 ・家庭・地域による見守り活動 | ・学校生活アンケート ④よい学校:児,保95%以上 | B | ○【農業体験活動】1年…なす、2年…さつまいも、3年…きゅうり5年…田植え・稲刈り、6年…梨づくり体験、ひばり…各種野菜の植栽や推食。 ○【地域体験】2年…ひなた、3年…アグリパーク・消防署・警察署・きゅうり農家見学。4年…福祉体験。 ○PTAバザー、餅つき大会、クリーン活動除草活動等) △HPの活用 【学校生活アンケート結果】 ②教育活動の情報発信(保-3p)③地域連携(保+2P) ④よい学校(児±0保-3P) | ・植栽活動や地域見学の実施により、充実した教育活動を推進することができた。体験を通じた学びは児童の豊かな心を育んでいる。 ・PTA協力によるバザーや餅つきは児童の良い体験となった。また、PTA主催のクリーン活動により児童のよりよい教育環境づくりは本校の財産である。今後も連携を継続していきたい。 ・HPは児童の活動の様子を中心に更新しており、週案や各種便り等の掲載・配信についてはメール配信システムを活用している。どのプラットフォームの活用が効果的か、今後も適宜検討と試行を重ねていく。 | B | ・地域との連携はとても重要です。今後も今まで以上に連携をお願いします。授業時数との兼ね合いもありますが、体験学習等をできるだけ積極的に取り入れてください。豊かな心を育むためには、体験学習等は最適です。 ・この項目は児童・保護者・教職員全体から高評価であり、すばらしいものでした。今後も続けられることを期待します。 ・学校独自の行事も多く、協力し合いながら楽しく行われているようです。 ・第三小独自の活動が多く良いと思います。今後も持続できるように協力していきたいです。 ・アンケート24(「誇れる学校か」)の保護者の結果は残念であるが、引続きPTAとして児童によりよい生活を送ってもらえるよう取り組んでいきます。 ・農業・地域体験は、子供たちが喜ぶだけでなく、様々な体験ができて良い教育活動と思っています。また、地域ボランティアによる協力体制も継続していただき、子供たちが自慢できる学校にできたらと思います。 |